

支部長・会員の皆様

専務理事 松尾 彰

「本部だより NO.3」をお届けいたします。

[社員候補者の決定について]

第二代社員候補者の選考につきましては各方面で御協力をいただきまして、有難うございました。この度、9月1日～30日までの30日間の公示期間に社員候補者（本部だより NO.2 修正または同窓会HP <http://hiro-kogyokai.com/>をご覧ください）に対する異議申し立てはなく、60人全員が社員として正式に決定しましたことをご報告いたします。社員となられた皆様におかれましては、これから2年間ご協力をいただきますようお願い致します。

[支部企画の支援制度について]

これまでもお知らせしていますが、会員間の交流を促進する目的で、支部企画を支援する制度を今年から試験的に発足させています。これまでに広島カーブ応援企画、支部新入会員懇親会補助、会員消息調査、ゴルフコンペ景品補助などの応募があり支援をしております。目的にかなう事業であれば特に内容は問いません。支援は参加会員一人当たり500円を原則としていますが、講演会などのように一括で支援額を決めることもあります。是非、気軽に申請してください。申請用紙は同窓会HP <http://hiro-kogyokai.com/> の申請用紙欄より入手することができます。

[廣安奨励金の授与式について]

広島大学名誉教授故廣安博之先生の名を冠した研究奨励金制度が発足していることはご存知と思います。廣安先生の残された研究費を基金として、広島大学工学同窓会が行っている将来有望な研究者を育てるための支援事業です。10月10日（金）14時から同窓会事務局において、広島大学工学研究院から和根山支援室長、長谷川副室長、受賞者5名、同窓会から羽山会長、松尾専務理事が出席して、研究奨励金の授与式が挙行されました。受賞者達は羽山会長からの研究に関する質問にもきちんと回答しておられる様子で、将来を期待できそうな人材だと感じられました。

[平成27年企業説明会開催のお知らせ]

これから就職活動を始める広島大学工学部・工学研究科・先端物質科学研究科の学生と企業各社が交流する「平成27年企業説明会」を広島大学工学同窓会の主催で平成27年3月3日（火）、4日（水）に東広島キャンパス内の東体育館で開催する運びとなりました。

これまでは2月初旬に開催していましたが、求人活動解禁日が3月からとなりましたので、変更しました。昨年様子は同窓会HP <http://hiro-kogyokai.com/2014/08/1523/>でご覧になれますが、昨年は参加企業延べ232社、参加学生延べ669名（文系も含む）と盛況でありました。これまでに参加された各企業には10月中旬にご案内を差し上げたところです。ブース数に限りがあり、残り少なくなっていますが、皆様の関連企業におかれましても、参加したいというご希望がありましたら、同窓会事務局まで至急お問い合わせください。締め切りは11月28日ですが、先着順となっております。全ての書類は同窓会HP <http://hiro-kogyokai.com/2014/10/1576/>にあります。

[公開講演会について]

去る10月31日に広島大学薬学部長杉山政則教授による公開講演会「プロバイオティクスで生活習慣病を予防改善」を開催いたしました。植物から抽出した乳酸菌により、例えば抗ストレス効果のあるもの、ピロリ菌の増殖抑制、脂肪肝の改善、 γ -GTPの低減など多数の効果を確認しておられ、近い将来生活習慣病の予防に大きな期待を感じさせる講演でした。一般市民も含めて49名の方に参加していただきました。ご協力いただいた広島県内各支部にお礼を申し上げます。なお、講演の内容は来年度同窓会誌第138号に掲載される予定です。是非ご一読下さい。また、杉山先生が植物乳酸菌を清酒造りに応用し、美和桜酒造との共同研究で生み出された酒「安芸みどり」は広島大学（取り扱いが広島大学生協 <http://www.hucoop.jp/> のみ、販売は北1・霞コープショップ）から売り出されています。フルーティで美味しいお酒です。1本（720ml）2160円ですが、その内、「広島大学基金」へ500円寄付されることとなっています。

[支部ニュース]

支部ニュースがありましたら、本部宛てお送りください。HPトピックス欄に掲載いたします。今回は専務理事が支部の総会・懇親会に参加させていただいたご報告と広島土砂災害義援金についてです。詳細は同窓会HP <http://hiro-kogyokai.com/> をご覧下さい。次年度以降も各支部から早めに声をかけていただければ、会長または専務理事が支部総会に参加させていただき、同窓会に関する皆様からのご意見を直接うかがいたいと思います。

(1) 開催から少し時間が経過していますので、記憶をたどりながらご報告いたします。6月28日に東広島支部（河野安隆支部長）の総会・懇親会が開催されました。同窓会本部事務局のお膝元でありますので、専務理事も出席させていただきました。地元の企業、官公庁勤務の皆さま、広島大学支部以外の大学の先生方など色々な分野の方が多数参加されました。同支部は大変精力的な支部で、毎年総会の前に講演会を開催されていて、今年は「ロシア防衛駐在官業務と最近のサイバー空間における安全保障問題」という題目で大変興味のある講演を拝聴させていただきました。総会の後の懇親会も「乾杯は日本酒で」という東広島市の乾杯条例にのっとり始まり、西条の酒を楽しみながら、和

気あいあいと行われました。河野支部長のリーダーシップのもと支部の一体感が感じられる催しでした。

- (2) 9月20日(土)に開催された久留米支部(木下茂支部長)の懇親会に、専務理事として出席させていただきました。会員の中には大好きな大相撲を見ていて懇親会を忘れてしまったというハプニングで、遅れて参加された方もありましたが、皆様会員同士の交流を十分に楽しんでおられました。木下支部長の酒造会社の「大吟醸 極醸 喜多屋」がIWC(インターナショナル ワイン チャレンジ)2013日本酒部門で第一位を獲得されたことは同窓会のHP(2013.8.12掲載)などで、皆様ご存知と思います。それ以来注文が多すぎて入手困難な「まぼろしの酒」になっているようですが、当日はそれを味わわせていただき大変幸せなひと時でした。この久留米支部は年2回懇親会を開催され、2回目の参加者は無料というユニークな制度を設けておられます。沢山おいしい酒をいただいたので、そのからくりを正確には理解できませんでしたが、幹事の奥田さんが、ある会社の保養施設に掛け合ってください、それを安く(でもとても良い料理でした)利用できるようになったことと、酒などは寄付で賄えるという事のようなのでした。かなり酔っていましたので、間違いがあるかもしれません。興味のある方は来年度の支部長会議で直接ご確認ください。木下支部長が会員の皆様の交流を進めるために色々工夫しておられる姿と、幹事の奥田さんが懇親会などのお世話を楽しみながらしておられる様子がとても印象的でした。工学同窓会の支部企画支援制度では「2回目の懇親会」も支援の対象になりますので、是非ご応募いただければ有難いと思います。
- (3) 滋賀県支部(廣實崇司支部長)では広島土砂災害義援金として、9月初め広島市に5万円の寄付をされました。また、10月10日開催の第42回デルタ会ゴルフコンペでも参加者に寄付を募り、1.5万円の寄付をされました。広島市民になりかわりまして、お礼を申し上げます。
- (4) 10月24日に関東支部(長谷川泰二支部長)総会・懇親会があり、専務理事として参加させていただきました。当日は広島大学から河原能久工学副研究院長(社会環境空間部門)、森川克己准教授(電気電子システム数理部門)のお二人の先生を招待し、広島大学の現状、広島土砂災害状況、専門の研究などのご講演をいただきました。懇親会では広島土砂災害義援金のためのチャリティーオークション(オバマさんが飲んだお酒「大吟醸特製ゴールド賀茂鶴」もありました)を実施され、7万円の収益を専務理事がお預かりして帰りました。高価な品物を寄付していただいた方々、オークションに参加していただいた方々に感謝いたします。後日、同窓会本部の義援金30万円と併せて広島市に寄付させていただく予定です。また、来年度は広島カープ応援企画を2回開催されることが決議されました。個人的には建築学科の先輩である中田前支部長をはじめ、後輩たちも多数参加していただき、楽しいひとときを過ごすことができました。長谷川支部長の温厚な人柄と矢野事務局長の元気エネルギーがとても印象に残った総会・懇親会がありました。

[広島大学の動向]

詳細は広島大学HP <http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html> をご覧ください。

- (1) 広島大学はこの度、文部科学省「スーパーグローバル大学創生支援」(トップ型)に採択されました。世界におけるトップ100を目指す大学(国内で13大学が採択)として認定されたものです。
- (2) 第8回広島大学ホームカミングデーが11月1日(土)広島大学東広島キャンパスを中心に開催されました。アルピニスト野口健氏の文化講演会「生きる」や各研究科・学部の紹介、懇親会など色々な催しがありました。詳細は広島大学HPをご覧ください。毎年11月の第一土曜日に開催されることとなっていますので、来年度、クラス会などで大学の近くに来られる可能性のある場合は是非ご参加ください。
- (3) 広島大学では平成27年度よりクォーター制(4学期制)を導入します。会員の皆様が広大在学中は前期・後期の2学期制でありましたが、この前期と後期を半分に分けて、4学期制とするものです。その目的は、講義を短期間で集中して取得する事による教育効果を期待するとともに、春季・夏季休暇やその前後の学期を利用して国内外のボランティア活動や短期留学などにあてて、何事にも前向きに取り組む人材・グローバルな人材に育ててほしいとの期待があるようです。